

HANDS

97
2024

Kokura Memorial Hospital



いつもの暮らしに、いつものあなた
小倉記念病院

〒802-8555 北九州市小倉北区浅野3丁目2番1号 TEL.093-511-2000(代表) [小倉記念病院](#) [検索](#)

TEL.093-511-2062(医療連携課) FAX.0120-020-027(医療連携課) FAX.093-511-2032(救急室) 夜間・休日における救急患者の情報のみ

【表紙】

ダビンチのコンソールから覗く世界は高画質で立体的な3D画像のため、自分の目で術野を捉えているような感覚で精度の高い繊細な動きが可能となっています。

SURGERY

ただひたすら患者と向き合う。プロフェッショナルとしての覚悟と信念を持ち、
最前線の治療を突き進んでいく医師たちがここに集う。

当院の外科部門は消化器外科と乳腺外科の2つの専門領域を設け、消化器外科では胃、腸、肝臓、膵臓、スに配慮した高度な技術を駆使し、腹腔鏡手術やロボット支援下手術を用いて、患者一人一人に最適な治療を行っています。外科総勢12名の専門医が一

胆嚢などの疾患に対し診断と治療を提供しています。当院の患者の半数が抗血栓療法を受けており、出血リ療を行っています。乳腺外科では、乳癌を含む乳腺疾患の診断から治療まで幅広く対応し、乳房保存手術か丸となって最前線の外科治療を展開しています。



Da vinci

ロボット手術

低侵襲手術の革新を もたらす最先端技術

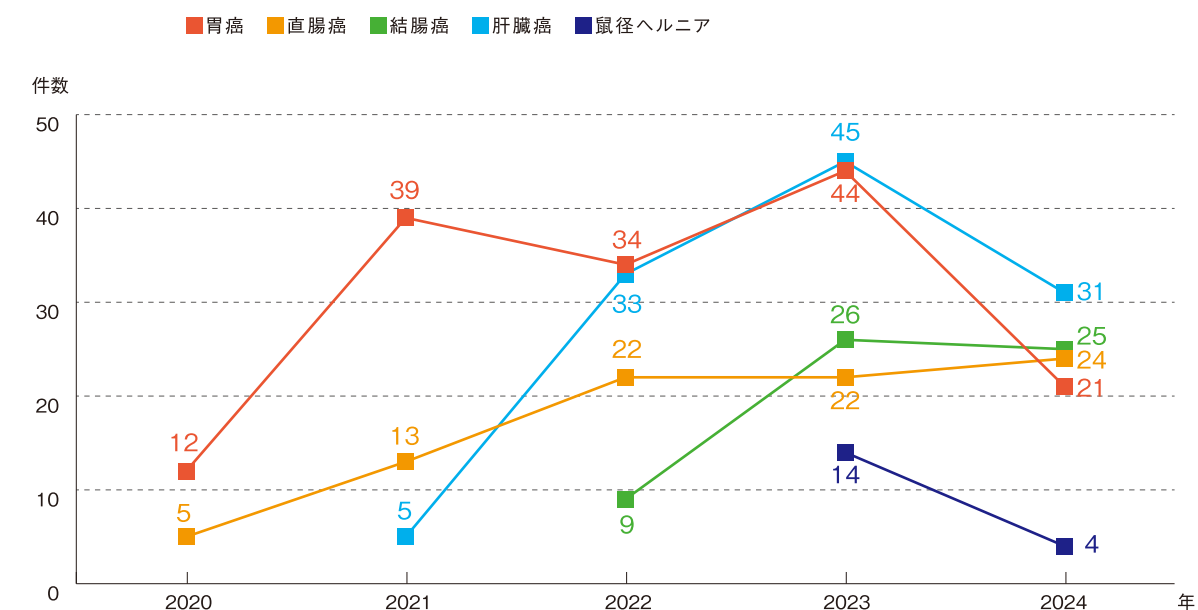
小倉記念病院では、2020年9月より「Da vinci Xi」によるロボット支援下手術を開始しました。ロボット手術センター開設により総手術件数は2024年7月末で700件を超え、今年度の手術件数は320症例/年に上ると予測されます。現在では2台のダビンチを駆使し、対象手術への迅速な対応や手術スケジュールの柔軟な調整を行うことにより、より多くの方に低侵襲治療を提供できるように努めています。

外科領域のロボット支援下手術対応疾患の実績【2024年7月末現在】

肝臓癌	胃癌	大腸癌	鼠径ヘルニア
114件	150件	146件	18件
・肝細胞癌 ・肝内胆管癌 ・転移性肝癌	・早期胃癌 ・進行胃癌	・結腸癌 ・直腸癌	

外科の胃癌・直腸癌手術を皮切りに2020年より開始したロボット支援下手術。導入後は胃癌・直腸癌に加えて結腸癌・肝臓癌・鼠径ヘルニアなど多岐にわたる領域をカバーし、現在では428件のダビンチ手術を行なっています。特に肝切除ロボット手術「ロボ肝」は114件に達し、全国では2位、西日本・九州ではトップの症例実績となっています。2023年から鼠径ヘルニア手術も導入しており、今後も近隣施設と連携をとりながら高度で安全なロボット支援下手術の運用を行います。

外科の領域別ロボット支援下手術件数推移【2024年7月末現在】



YUICHIRO KAWAMURA

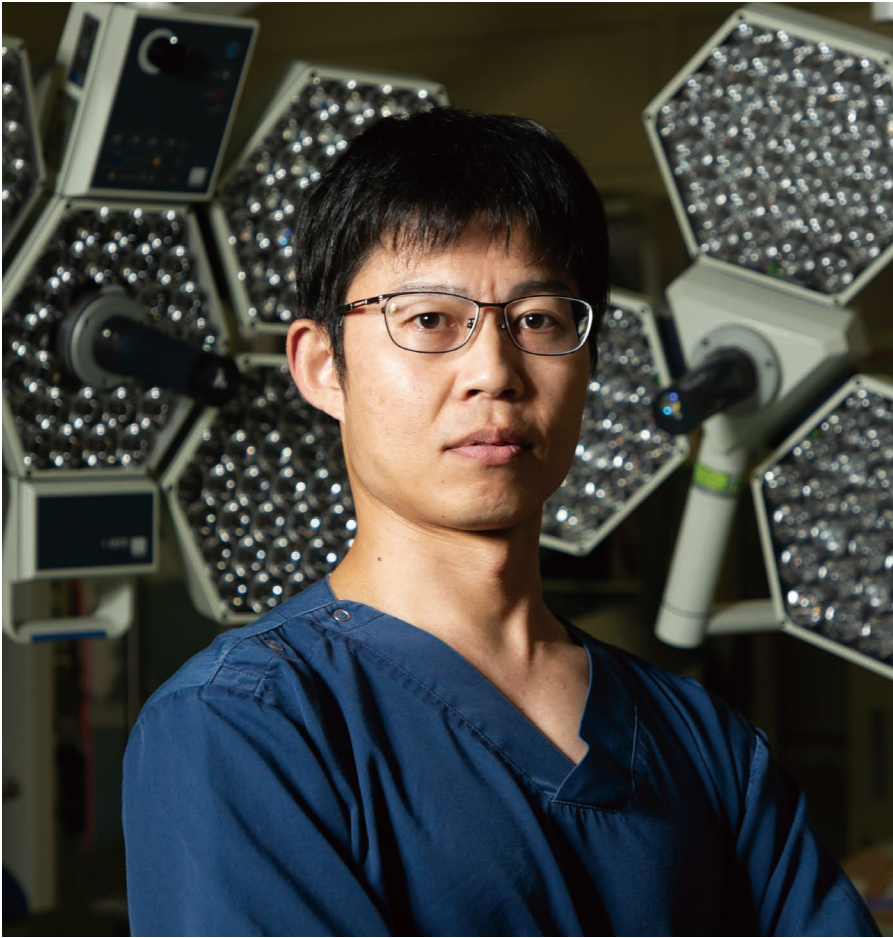
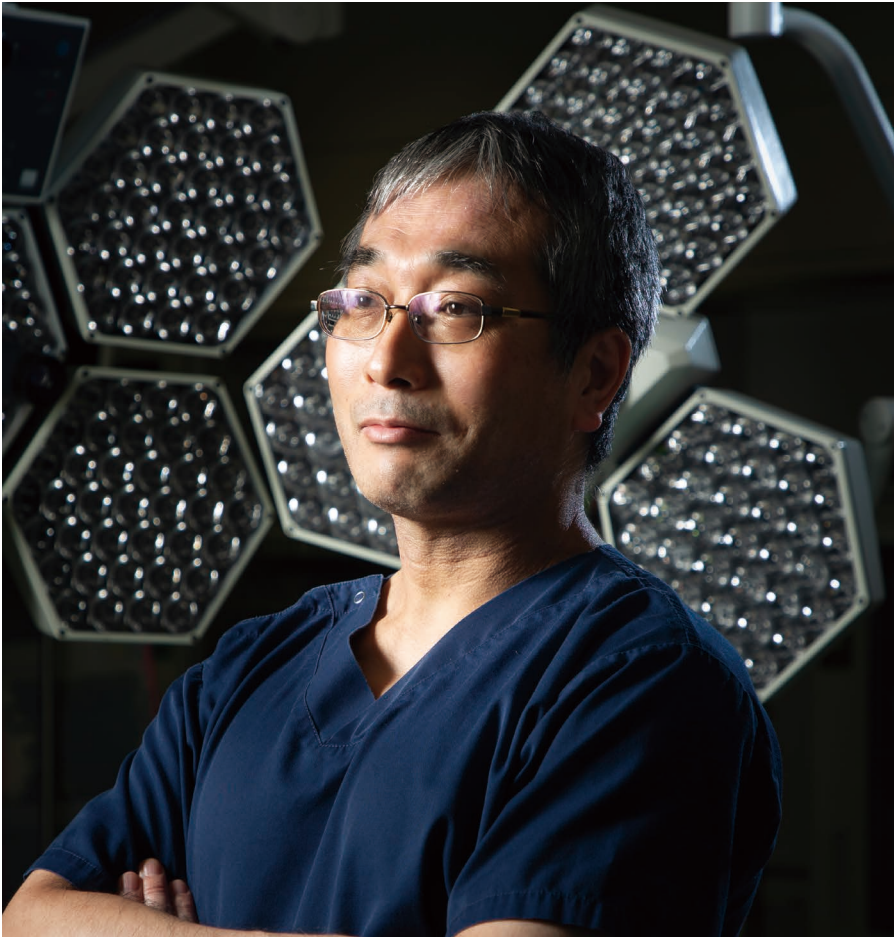
外科部長 河村 祐一郎

FIELD

消化管外科疾患の手術、化学療法、GISTや良性腫瘍、食道アカシア、食道裂孔、鼠径ヘルニアなどに対する鏡視下手術

専門医情報

- ・日本外科学会 専門医 指導医
- ・日本消化器外科学会 専門医 指導医
- ・消化器がん外科治療認定医
- ・日本内視鏡外科学会 技術認定医 評議員
- ・日本食道学会 食道科認定医
- ・日本胃癌学会
- ・ロボット手術術者資格取得医
- ・医学博士



TOSHIFUMI WATANABE

外科副部長 渡邊 利史

FIELD

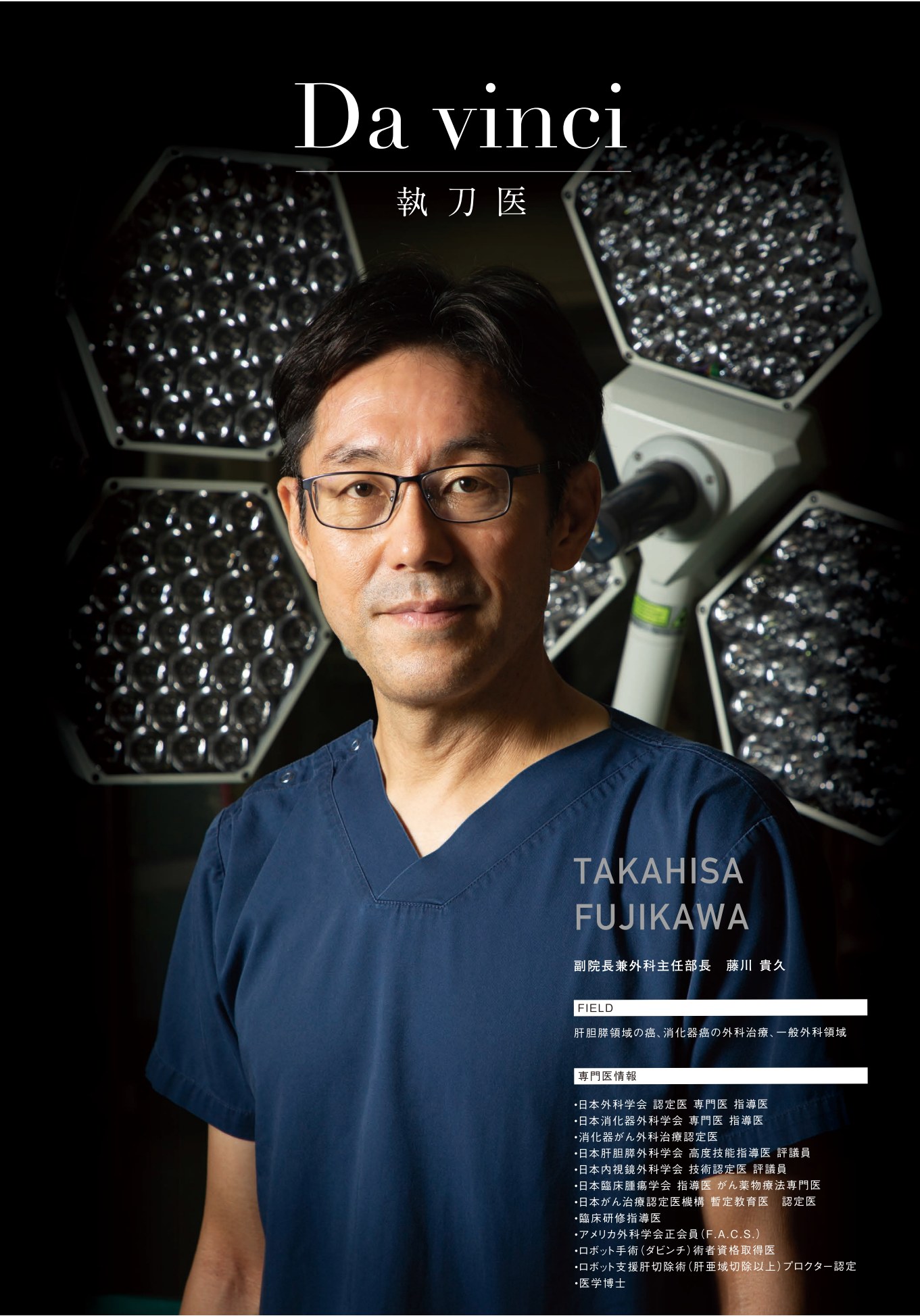
消化器領域のなかで、特に下部消化管（大腸）の癌に対する手術や化学療法

専門医情報

- ・日本外科学会 専門医 指導医
- ・日本消化器外科学会 認定医 専門医 指導医
- ・日本内視鏡外科学会 技術認定医（大腸）
- ・日本ロボット外科学会
Robo-Doc Pilot国内B級認定

Da vinci

執刀医



TAKAHISA FUJIKAWA

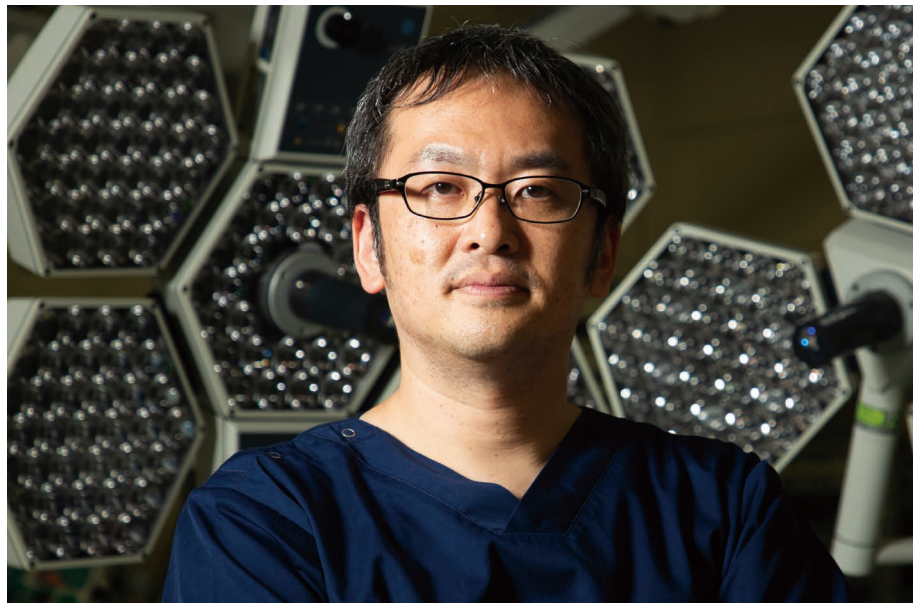
副院長兼外科主任部長 藤川 貴久

FIELD

肝胆膵領域の癌、消化器癌の外科治療、一般外科領域

専門医情報

- ・日本外科学会 認定医 専門医 指導医
- ・日本消化器外科学会 専門医 指導医
- ・消化器がん外科治療認定医
- ・日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医 評議員
- ・日本内視鏡外科学会 技術認定医 評議員
- ・日本臨床腫瘍学会 指導医 がん薬物療法専門医
- ・日本がん治療認定医機構 暫定教育医 認定医
- ・臨床研修指導医
- ・アメリカ外科学会正会員（F.A.C.S.）
- ・ロボット手術（ダビンチ）術者資格取得医
- ・ロボット支援肝切除術（肝亜域切除以上）プロクター認定
- ・医学博士



KEIJI NAGATA

外科副部長 長田 圭司

FIELD

消化器領域の悪性疾患（胃癌・大腸癌など）の手術や抗がん剤治療、胆石症・ヘルニアなどの一般外科領域や急性腹症の手術

専門医情報

- ・日本外科学会 専門医
- ・日本救急医学会 専門医
- ・日本集中治療医学会 専門医
- ・日本消化器外科学会 専門医
- ・消化器がん外科治療認定医

YUSUKE UEMOTO

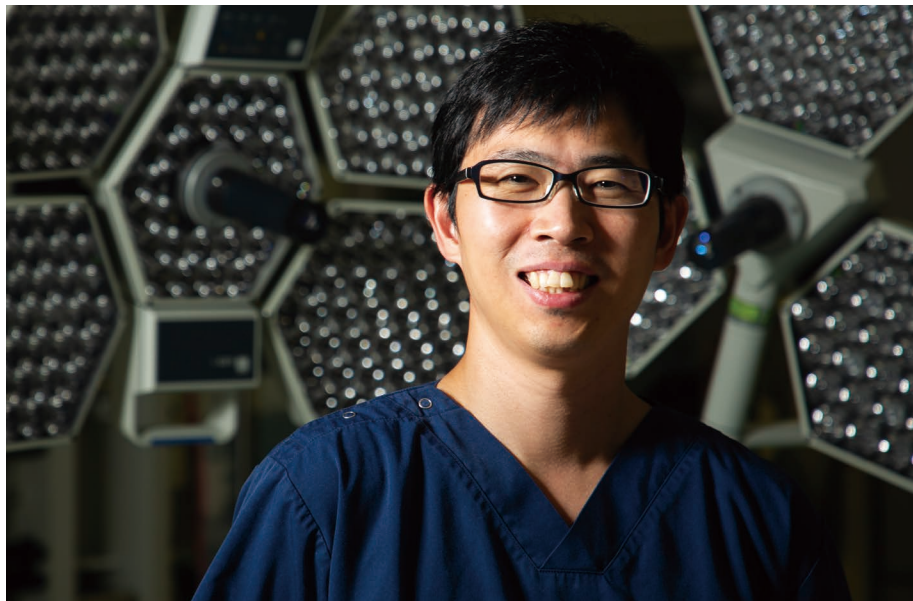
外科副部長 上本 裕介

FIELD

肝胆脾外科領域の悪性腫瘍を専門に腹腔鏡手術、ロボット支援下手術、抗がん剤治療

専門医情報

- ・日本外科学会 専門医
- ・日本消化器外科学会 専門医
- ・消化器がん外科治療認定医
- ・日本肝臓学会
- ・日本肝胆脾外科学会
- ・日本内視鏡外科学会
- ・日本臨床外科学会



KEITA TANAKA

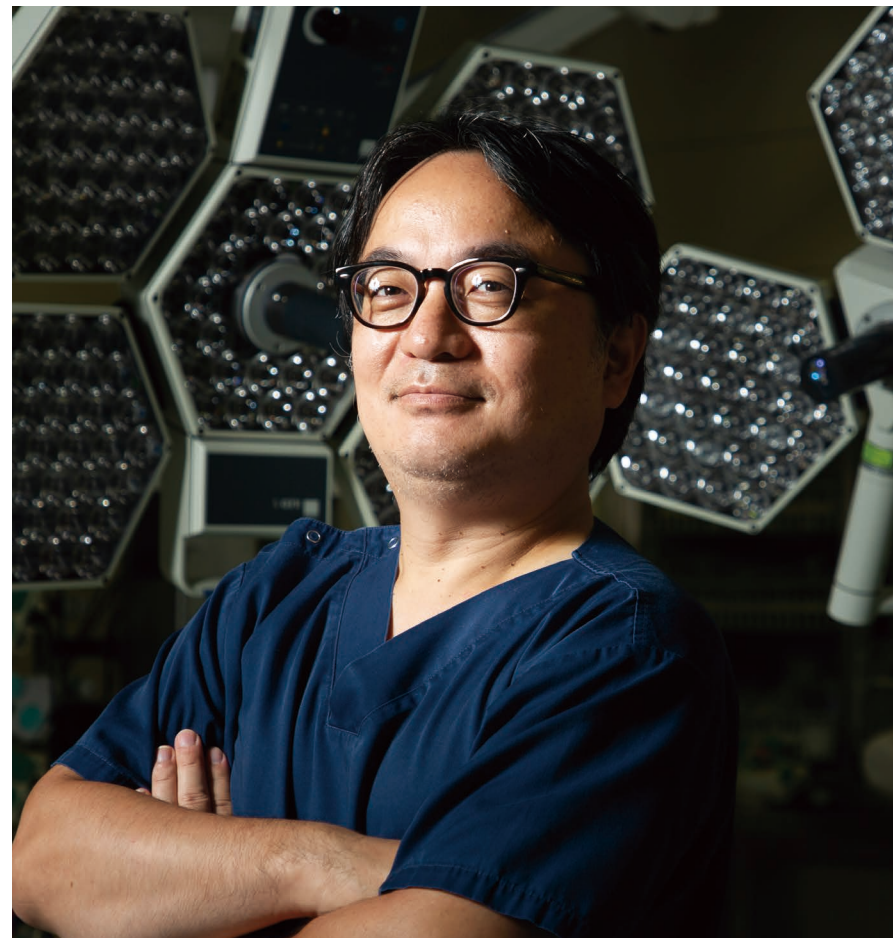
外科副部長 田中 敬太

FIELD

消化器外科領域における食道癌、胃癌、大腸癌などの悪性腫瘍、消化管穿孔や胆嚢炎、虫垂炎といった腹部救急疾患、ヘルニアに対する手術

専門医情報

- ・日本外科学会 専門医
- ・日本消化器外科学会 専門医
- ・消化器がん外科治療認定医
- ・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- ・日本食道学会 食道科認定医
- ・日本腹部救急医学会 腹部救急認定医
- ・日本消化管学会 胃腸科認定医
- ・ロボット手術術者資格取得医
- ・日本内視鏡外科学会 ・日本臨床外科学会
- ・日本胃癌学会 ・日本ロボット外科学会
- ・日本消化器病学会 ・医学博士



IPPEI YAMANA

外科部長 山名 一平

FIELD

食道癌、胃癌、大腸癌の手術や化学療法を含めた集学的治療、胆嚢炎、虫垂炎、鼠径ヘルニアなどの一般外科

専門医情報

- ・日本外科学会 専門医 指導医
- ・日本消化器外科学会 専門医 指導医
- ・消化器がん外科治療認定医
- ・日本気管食道学会 専門医
- ・日本食道学会 認定医
- ・日本腹部救急医学会 認定医 教育医 評議員
- ・日本内視鏡外科学会 技術認定医
- ・日本外科感染症学会 評議員
- ・日本消化器病学会 専門医
- ・日本臨床外科学会 評議員
- ・ロボット手術術者資格取得医
- ・医学博士

TAISUKE MATSUOKA

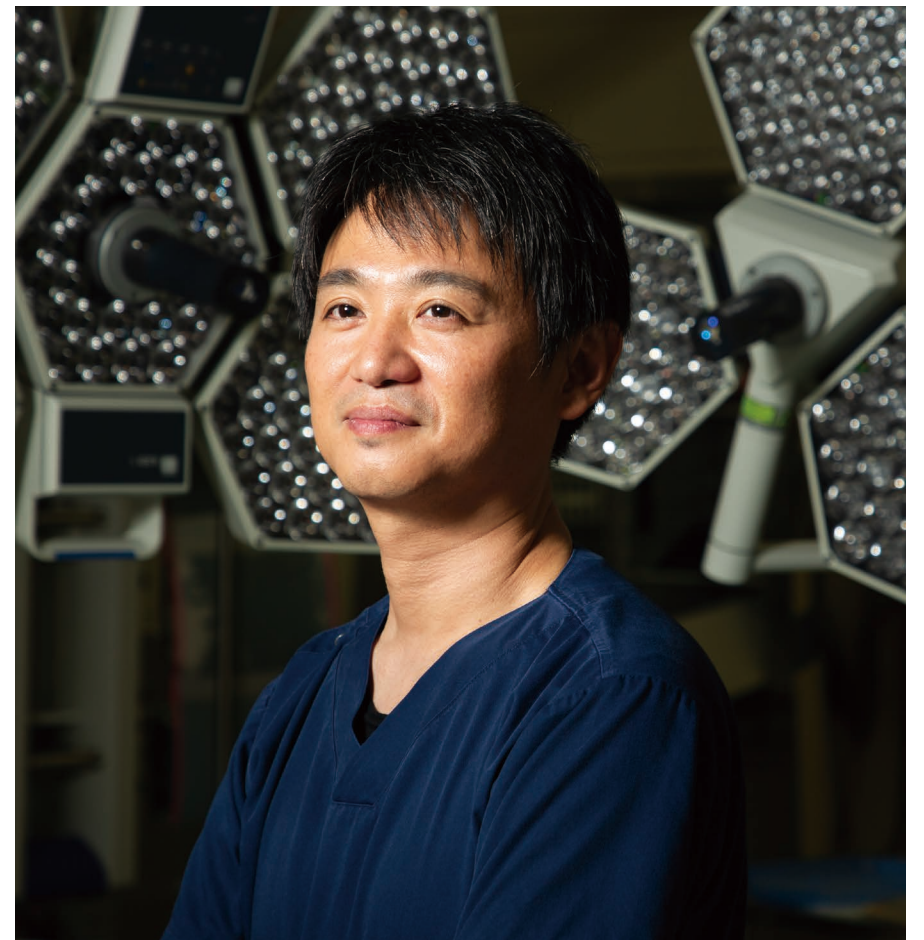
外科副部長 松岡 泰祐

FIELD

腹部の救急疾患や鼠径ヘルニア、虫垂炎、胆嚢炎などの一般外科での手術

専門医情報

- ・日本外科学会 専門医
- ・日本消化器外科学会 専門医
- ・日本内視鏡外科学会
- ・ロボット手術術者資格取得医
- ・医学博士





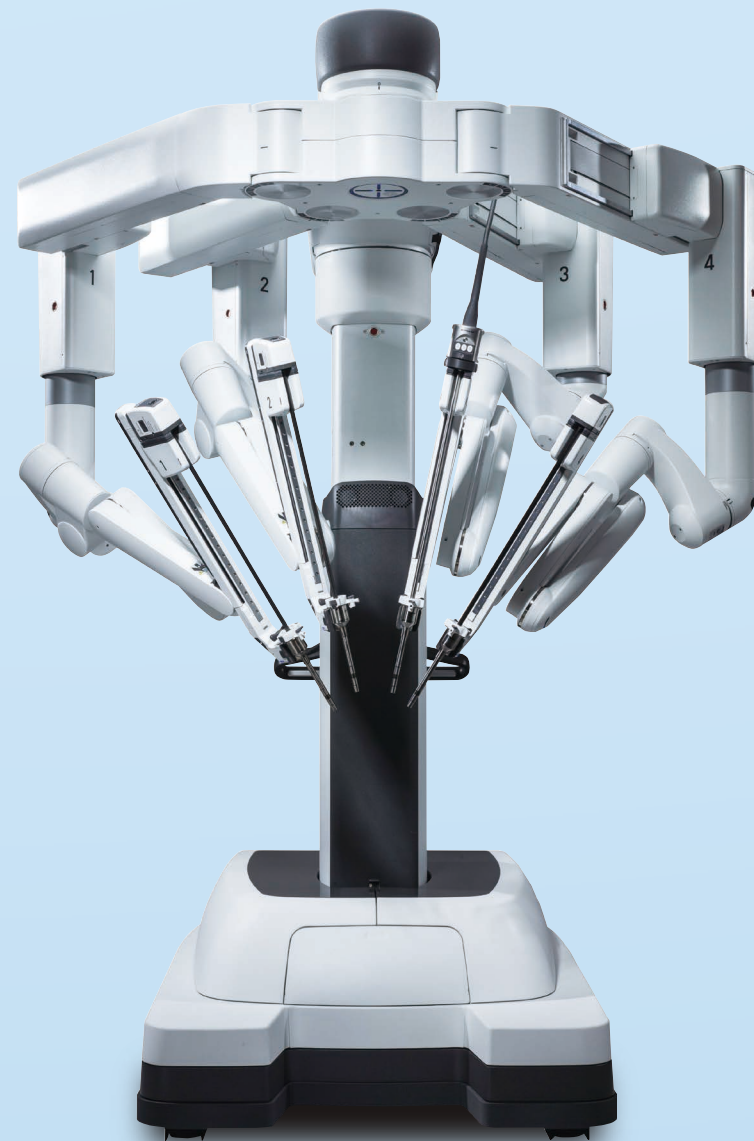
臨床工学技士 課長 片山 浩二

私たち臨床工学技士は、手術ロボットの管理・メンテナンスを担当しています。安全で正確な手術を実現するため、術式に合わせた装置の配置やネットワークの整備、術前の機器の動作確認から術中のトラブル対応まで行い、ロボット支援手術チームの一員としての役割を担っています。



手術室看護師 リーダー 百冨 綾香

ロボット手術では、医者や臨床工学技士など多職種と協働し、患者様の安心・安全を最優先にしています。安楽な体位保持やロボットアームによる圧迫の予防、清潔野や器具の管理を徹底し、快適で安全な手術環境を提供します。私たち看護師は患者様が低侵襲で最先端の手術を安心して受けていただけるよう日々研鑽に努めています。



高度な技術と 専門性を備え、 チームで挑む ダビンチ手術。

医療技術は日々進化しており、ロボット支援の高度な手術では、研鑽を積んだ執刀医療”として連携しています。術野には執刀医し、患者の状態を管理する麻酔科医、手術で高度な医療機器を操作・管理する臨床のプロフェッショナルが密にコミュニケーションすることで、患者に最善の医療を提供すること

下手術「ダビンチ手術」もその一例です。こを中心、に、さまざまな専門職が“チーム医のみでなく、その補助を行う外科医が参加をサポートし記録を行う手術室看護師、そして工学技士がチームを構成しています。これらとをとりながら、安全かつ確実に手術を進めることが可能となっています。



ロボット手術センター センター長
外科 主任部長 藤川 貴久

ダビンチ手術は、患者さんには低侵襲で出血も少なく、入院期間が従来の開腹手術より短期間で済みます。当院では特に抗血栓療法を行っている患者さんも多く、通常では抗凝固剤の休薬を検討しますが、ダビンチ手術では休薬期間を遅らせ、早期に再開できるという大きなメリットを享受することができます。今後も地域の患者さんが安心して治療を受けられるようチーム一丸となり質の高い医療を提供します。



麻酔科 主任部長 宮脇 宏

麻酔科医の立場からすると、ロボット手術の麻酔は決して楽な麻酔ではありません。特殊な体位（超頭低位、頭高位）や二酸化炭素による気腹が、呼吸、循環、脳循環にも影響を与えます。その中で、全身状態を適切に保ち、安全を担保し、外科医が手術をしやすい環境を提供すること、これこそが麻酔科医の果たすべき役割です。